

# 水稲・麦・大豆栽培情報 4月号

平成29年 4月 1日  
J A 柳 川  
南筑後普及指導センター

## 【小麦】

### 1 生育概況

3月の気温は平年並みで、降水量は少なく、日照時間は多く推移しました。草丈は平年よりやや短く、茎数は平年より少なく、生育は進んでいます。

出穂期は平年より早く、11月20日播種では「シロガネコムギ」で4月4日頃、「ミナミノカオリ」で4月9日頃と予想されます。

### 2 赤かび病防除

◎ 防除適期は、開花期（出穂後7～10日）です。

※出穂期は、ほ場全体の40～50%の茎が出穂した日になります。

【防除の目安】（小麦11月20日播種の場合）

品種名	防除適期	薬剤名及び10a当たり使用量	使用回数	使用時期
シロガネコムギ	4/11～4/14頃	トップジンM粉剤DL 4kg 又は トップジンM水和剤 1,000倍/100ℓ	出穂期以降は2回以内	収穫14日前まで
ミナミノカオリ	4/16～4/19頃			

※防除適期は今後の気温で変動することがあります。

※粉剤は散布後5～6時間内に降雨にあうと効果が低下します。週間天気予報等を参考にしながら早めの準備を心がけ、条件のよい日に散布して下さい。

### 3 「ミナミノカオリ」の穂揃期追肥

麦粒中のタンパク質含有率の向上のため、必ず実施してください。

施用時期は赤かび病防除と同時期（穂揃期～穂揃期後7日後）に、硫酸を15kg/10a施用してください。

尿素の葉面散布の場合は、開花期と開花期後7日後頃の2回実施します。

（尿素3.5kg/100ℓ /10a×2回で硫酸15kg/10aに相当します）

### 4 周辺作物への農薬の飛散防止

隣接ほ場に他作物が作付されている場合、農薬がかからないように風向きや風の強さに十分注意して下さい。

農作業安全確認運動

**慣れと油断が招く農作業事故**